

平成29年度気象学会東北支部気象研究会・仙台管区気象台東北地方調査研究会 合同発表会次第

日時：平成29年12月4日（月）10時00分～17時15分

仙台第3合同庁舎 2階大会議室

I 開 会	仙台管区気象台 気象防災部 防災調査課長	10:00
II 挨拶	仙台管区気象台 台長	
III 連絡事項	仙台管区気象台 気象防災部 防災調査課調査官	
IV 研究発表		

発表持ち時間は1題15分です。時間を厳守願います。  
 第1予鈴が、10分で鳴ります。まとめに入ってください。  
 第2予鈴が、12分で鳴ります。発表を終了し、質疑応答に入ります。  
 終鈴が、15分で鳴ります。質疑応答は終了です。  
 ※発表の際は、最初に調査の概要についてお話しください。

1日目 平成29年12月4日（月）

座長：仙台管区気象台 気象防災部 地球環境・海洋課長

	発表者所属	☆：発表者	発表予定時間
1 地球温暖化予測情報第9巻G P Vデータを用いた宮城県の夏の気温の将来予測	仙台	☆川上 新吾・相馬 求・瀧上 隆雄	10:10～12:10
2 アンサンブル週間葉面湿度予報	東北大	☆池田 翔 <sup>1</sup> 、菅野 洋光 <sup>2</sup> 、山崎 剛 <sup>1</sup> (1：東北大学大学院理学研究科、 2：農研機構農業環境変動研究センター)	
3 大規模アンサンブル水稲生育シミュレーションによる気候変動に伴うコメ生産の安定性の評価	福島大	☆吉田 龍平 <sup>1</sup> 、福井 真 <sup>2</sup> (1：福島大学共生システム理工学類、 2：早稲田大学人間科学学術院)	
4 秋田県大潟村における最近30年間のダイズの単収とその6～8月における気象場との関係	秋田県立大	☆鈴木 歩乃花、井上 誠、木口 倫、渡邊 陽貴、 佐藤 孝、露崎 浩、藤井 吉隆、永吉 武志、近藤 正、 津田 渉	
5 作柄概況資料による東北地方における水稲作期の長期変化	東北農業 研究センター	☆大久保 さゆり、長谷川 利拡	
6 日本列島および地球の温暖化と海域海面水温の経年変化	無所属	☆今清水 雄二	
7 秋田における高層気温の経年変化 その2	秋田	☆見城 舞、工藤 千明、石黒 友紀、榎並 信太郎	
8 札幌・東北日本海側の降雪地域分布と経年変動特性	弘前大	☆谷田貝 亜紀代、木下 知里	

【休憩】

12:10～13:00

座長：仙台管区気象台 気象防災部 観測課長

		☆：発表者	発表予定時間
9 ひまわり8号のスプリットウィンド観測データを使用した梅雨期の降水可能性域の推定について	山形	☆酒井 貴紘、村田 一則	13:00～14:45
10 ひまわり8号を用いた予報技術向上の検討について	仙台	☆加藤 景次・阿部 真治・西村 雅人	
11 畳込みニューラルネットワークを用いた雲量計測手法	会津大	☆徳竹 正行、富岡 洋一、小平 行秀、齋藤 寛	
12 ドローン(UAV)を用いた秋田上空における二酸化炭素の鉛直分布観測	秋田県立大	☆井上 誠、芳賀 ゆうみ、永吉 武志、間所 洋和、 高階 史章、木口 倫、森野 勇	
13 岩手藪川の低温に関する一考察	岩手大	☆舞良 弘規、名越 利幸	
14 秋田県内積雪観測アメダスの積雪状況について	秋田大	☆本谷 研	
15 日本における日降水グリッドデータの風による捕捉損失の補正	弘前大	☆増田 南波 <sup>1</sup> ・谷田貝 亜紀代 <sup>1</sup> 、上口 賢治 <sup>2</sup> 、田中 賢治 <sup>3</sup> (1：弘前大学理工学研究科、2：気象庁、3：京大防災研)	

【休息】

14:45～14:55

座長：渡邊 明 特任教授（福島大学）

		☆：発表者	発表予定時間
16 温位座標に基づく寒気流出の将来変化	東北大	☆菅野湧貴、岩崎俊樹	14:55～16:10
17 極東地域における2016年1月の大寒波についての寒気質量解析	東北大	☆山口純平、菅野湧貴、岩崎俊樹	
18 青森市における地形性降雪の影響要因	弘前大	☆高橋 采伽、石田 祐宣	
19 Meso循環と放射性物質の輸送・拡散	福島大	☆渡邊 明	
20 岩手雫石盆地の霧に関する数値シミュレーション	岩手大	☆小川 浩輝、名越 利幸	

【休息】

16:10～16:15

座長：仙台管区気象台 気象防災部 予報課長

		☆：発表者	発表予定時間
21 JRA-55を用いた羽越豪雨（1967年）の再解析	山形	☆丹野 咲里、阿曾 知子、村田 一則、三本木 浩、 柴木 美沙紀、安久津 俊幸	16:15～17:15
22 JRA-55を用いた再現実験および解析(1990年9月20日の大雨)	仙台	☆田ノ下 潤一	
23 Atmospheric Riverが日本の豪雨に与える影響	弘前大	☆末藤 菜保 <sup>1</sup> 、谷田貝 亜紀代 <sup>1</sup> 、高藪 縁 <sup>2</sup> (1：弘前大学理学研究科、2：東京大学大気海洋研究所)	
24 2017年7月22日から23日にかけての秋田県を中心とする大雨事例の解析	仙台	☆高野 健志	

V 懇親会（於、メルパルク仙台 レストラン フォレスタ）

開始予定 18:30